

PRESS  
RELEASE

# Toulouse- Lautrec

Elegance of the Master of the Belle Époque

フィロス・コレクション

ロートレック展

時をつかむ線

Single source exhibition organized in collaboration  
with PAN Art Connections

2024 6.22 Sat. – 9.23 Mon. Holiday



SOMPO美術館  
Sompo Museum of Art

トールーズ・ロートレック Henri de Toulouse-Lautrec  
《キヤバールのワリス・ガムラン》(部分) 1893年 鉛筆・水彩  
Aristide Bruant, dans son cabaret, original work altered,  
1893, Lithograph  
《舞・モリス・キヤバールのメニュー・カード》(部分) 1896年 鉛筆・水彩  
Cocodille, menu Maurice Gilbert, original work altered,  
1896, Lithograph

19世紀末フランスを代表する画家、アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック (1864年-1901年) の展覧会です。ロートレックによる紙作品の個人コレクションとしては世界最大級のフィロス・コレクションより、約240点をご紹介します。フィロス・コレクションの最大の特徴である素描作品に始まり、ポスターを中心とする版画作品、雑誌や書籍のための挿絵、ロートレックが家族や知人にあてた手紙、ロートレックの私的な写真など、画家に肉薄した作品と資料で構成する展示です。

展覧会  
の  
みどころ

## 世界最大級のコレクション、日本初上陸

1

ロートレックの紙作品(グラフィック)のコレクションとしては、パリのルーヴル美術館やアルビのロートレック美術館に次ぐ規模を誇るフィロス・コレクションが、日本で初めて紹介される展覧会です。ロートレックは生涯約30点のポスターを制作し、それは彼自身のみならず19世紀末芸術の代名詞ともなりました。本展では、一世を風靡したロートレックのポスターから21点が出品されます。

展覧会  
の  
みどころ

## 19世紀末パリ —ほら、<sup>キャバレ</sup>劇場の喧騒が聞こえる。

2

伯爵家に生まれ、画業のためパリに出たロートレックは、1884年頃からモンマルトルにアトリエを構え、そこに生きる歌手や芸人、娼婦たちの姿を描きました。本展では大胆な構図を活かしたポスターをはじめ、豊富な関連資料を合わせて展示することで、世紀末パリの街をいざなり、時代を生きた人々の姿が浮かび上がります。

展覧会  
の  
みどころ

## 時をつかむ線 —素描、書簡、写真など、画家に肉薄した 作品資料で真の姿に迫る

3

完成作品から日々のスケッチまで、フィロス・コレクション最大の特徴である素描約45点を紹介。ロートレックの素早い描線を間近に感じ、線の魅力を堪能することができます。また知人や肉親にあてた手紙、私的な写真などを加え、ロートレックの「真の姿」に迫ります。

広報用画像 ①



### 作家紹介: アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック

Henri de Toulouse-Lautrec (1864-1901)

南フランスのアルビに伯爵家の息子として生まれ、幼いころから、絵を描くことに関心を抱いていました。13歳のときに左脚を、14歳で右脚を骨折、以降下半身の成長が止まってしまう、絵画に専念するようになりました。1884年頃からパリのモンマルトルにアトリエを構え、そこに生きる歌手や芸人、娼婦たちの姿を描き、なかでも素早い描線と大胆な構図を活かしたポスターが一世を風靡しました。飲酒や放埒な生活のために肉体と精神を害し、療養の末、母の居城があったマルロメで亡くなりました。

### コレクション紹介: フィロス・コレクション

ギリシャ人コレクターのベリンダとポール・フィロス夫妻が、20年以上にわたり収集しているロートレック作品の個人コレクション。総数は300点以上にのぼり、現在も増え続けています。その内容は素描を中心に紙を支持体とする作品(グラフィック)群で、版画や書籍、ポスターに関しては、状態の良いものを厳選して収集しています。すでにアメリカや中国でコレクションを紹介する展覧会が開催されていますが、日本での開催は今回が初めてとなります。



第  
**1**  
章

# 素描

## Chapter 1: Drawings

最初の章では、フィロス・コレクションの素描作品を可能なかぎりご紹介します。素描作品には完成度の高いものや紙片の両面に描かれた簡単なスケッチ、あるいはポスターの下絵なども含まれ、ロートレックの制作過程を垣間見ることができます。版画と異なり「1点もの」である素描は、ロートレックが何を見てそれをどのように描いたのか、その「視線」を直に感じることができる素材といえるでしょう。

### 広報用画像 ② 《騎手》

1879-81年 19.8×31.3cm ペン、インク/紙  
Cavalier, 1879-1881, Pen and ink on paper

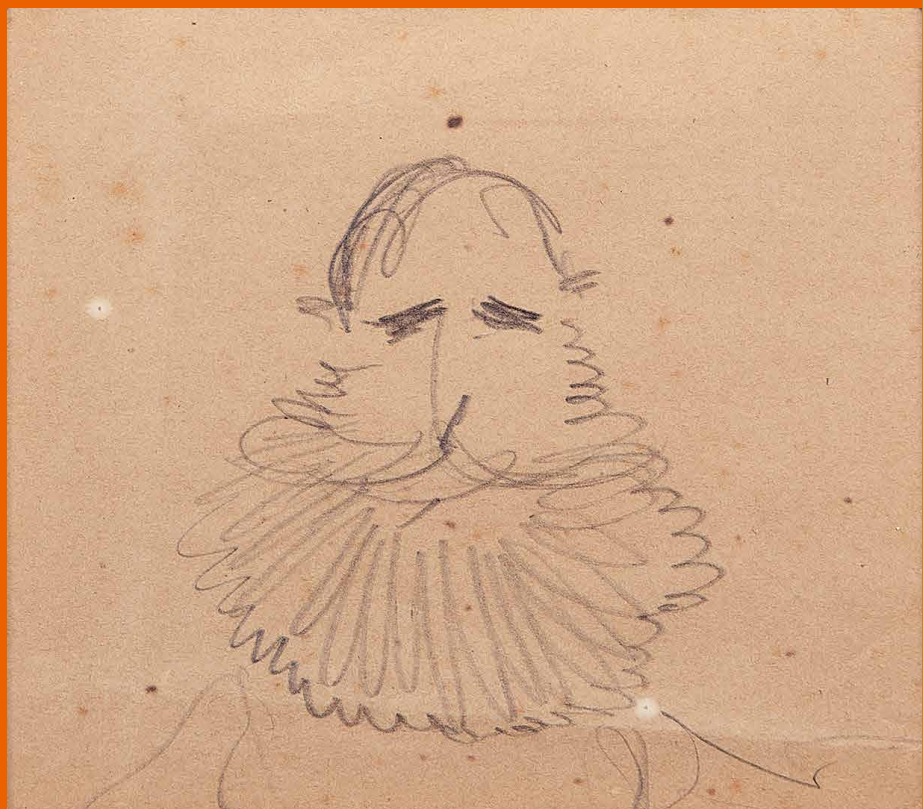
伯爵家に生まれたロートレックにとって、乗馬や狩猟など馬に関連したレクリエーションは貴族の嗜好<sup>たしな</sup>として身近な存在であり、最初に師事したルネ・プランストーは騎馬像で知られた動物画家でした。そのためか、ロートレックの初期作品には馬に関連するものが多数見受けられます。《騎手》は、おそらく本格的にプランストーのもとで絵を学び始める前後のものと考えられ、人馬一体となった動きの瞬間が、素早い描線でとらえられています。後にモンマルトルのダンサーや芸人の躍動感にあふれる姿を簡潔な線でとらえたロートレックの技量は、このころから培われていました。



### 広報用画像 ③ 《アルフォンス・ド・トゥールーズ=ロートレック伯爵の肖像》

1888年頃 10.5×12.0cm 鉛筆/紙  
Portrait du Comte Alphonse  
de Toulouse-Lautrec, c.1888,  
Pencil on paper

ロートレックの生家であるトゥールーズ=ロートレック伯爵家は十字軍の時代から続く旧家で、その当主であるロートレックの父アルフォンス・ド・トゥールーズ=ロートレック伯爵は、乗馬や狩猟を愛し、仮装を趣味とする一風変わった人物でした。少年時代のロートレックが狩猟や馬を好んだのは、この父の影響が大きいといわれています。一方、ロートレックの母アデルは読書を趣味とし、おだやかな生活を好んでいました。アルフォンスとそりが合わない母アデルはロートレックの弟の死をきっかけに別居（後に離婚）、ロートレックは母のもとで生活することになります。



# 第2章 ロートレックの世界

—カフェ・コンセール、ダンスホール、キャバレ……

第2章では、ムーラン・ルージュ、自由劇場、制作座など、ロートレックを取り囲む世紀末パリの世界を、版画と素描でご紹介します。また、ジャヌ・アヴリル、マルセル・ランデルのほか、ロートレックがモデルとして描いた芸人たちも可能なかぎり取り上げ、とくにお気に入りのモデル、イヴェット・ギルベールとアリストイド・ブリュアンについては、各々の著作物も展示します。

## 広報用画像 ④ 《イヴェット・ギルベール》

1893年 23.0×12.6cm 水彩/紙 Yvette Guilbert, 1893, Watercolor on paper  
イヴェット・ギルベールは19世紀末パリを代表する歌手。ロートレックは何度もギルベールの姿を描いていますが、時にはその特徴を醜いまで誇張して描いたため、ギルベールの不興を買うこともありました。細身の身体と肘上まである黒手袋がギルベールの特徴で、ステージではその長い腕を印象的に振りながら、大胆な歌詞を語るように歌いました。ロートレックはギルベールのための版画集の挿絵を担当していますが、この作品はその下絵のうちのひとつ。ギルベールはトレードマークの黒手袋をはめ、観衆に挨拶をしています。

## 広報用画像 ⑤ 《キャバレのアリストイド・ブリュアン》

1893年 127.3×95.0cm リトグラフ  
Aristide Bruant, dans son cabaret, 1893, Lithograph  
19世紀末モンマルトルを代表する歌手であり作曲家でもあったアリストイド・ブリュアンのために、ロートレックが制作したポスター。黒い上着につば広の黒い帽子、赤いマフラー、片手に持った棍棒<sup>こんぼう</sup>といったブリュアンのトレードマークが強調して描かれています。ブリュアンのキャバレ「ル・ミルリトン」の宣伝用として制作されたものですが、出品作品は店名などの文字情報が載せられる前の貴重な一枚です。このポスターを気に入ったブリュアンは縮小版を作らせ、署名と番号を入れてル・ミルリトンで販売しました。

## 広報用画像 ⑥ 《マルセル・ランデル嬢の胸像》

1895年 59.0×41.0cm リトグラフ  
Mademoiselle Marcelle Lender, en buste, 1895, Lithograph  
マルセル・ランデルは、ヴァリエテ座のスター女優で、優雅な物腰と波打つ髪、美しい背中を持ち主。ランデルはヴァリエテ座で上演されたオペレッタ『シルペリック』でボレロを踊りましたが、ロートレックは舞台上のランデルの姿に魅せられ何度も劇場へ足を運び、彼女をモデルに素描や版画作品を手がけました。この作品はランデルを描いた作品のなかでも最も華やかで洗練されたリトグラフ。「吹き付け」と呼ばれる版画技法が使われています。





## 第3章

## 出版 — 書籍のための挿絵、雑誌、歌曲集

第3章では、ジュール・ルナール『博物誌』、デジレ・ディオールの歌曲集『昔噺』<sup>むかしばなし</sup>、ジョルジュ・クレマンソー『シナイ山の麓で』、芸術雑誌『ラ・ルヴュ・ブランシュ』や『レスタンブ・オリジナル』など、出版物（雑誌、書籍）に関連した作品を展示します。とくにディオールの歌曲集『昔噺』のなかの「君がため！」は、鉛筆の素描にはじまり、石版、文字のせ前の刷り、完成作まで、一連の制作過程をご覧ください。

## ⑦ 『レスタンブ・オリジナル』誌表紙

1893年 58.0×69.0cm リトグラフ  
Couverture de "l'Estampe originale", 1893, Lithograph



『レスタンブ・オリジナル』は、1893年から1895年まで出版された版画集で、合計10巻が発行され、75人の芸術家による計95点の版画が掲載されました。ロートレックやナビ派の画家など前衛芸術家たちの作品が掲載され、その多くは工程が複雑で手間のかかる多色刷りのリトグラフが用いられました。『レスタンブ・オリジナル』誌の記念すべき第1号の表紙となったこの作品では、ロートレックが懇意にしていたアンクール印刷所のベテラン刷り師・コテル爺さんと、刷り上がりを吟味するモンマルトルの花形ダンサー、ジャヌ・アヴリルが描かれています。

## ⑧

## 『ラ・ルヴュ・ブランシュ』誌のためのポスター

1895年 125.5×91.2cm リトグラフ  
L'Affiche pour "La Revue blanche", 1895, Lithograph

『ラ・ルヴュ・ブランシュ』は1889年に創刊された雑誌で、1893年からロートレックやモーリス・ドニ、フェリックス・ヴァロトンといったナビ派の画家たちによる描きおろしの版画作品が掲載されました。この作品は『ラ・ルヴュ・ブランシュ』の宣伝ポスター。同誌の編集長タデ・ナタンソンの妻ミシアが颯爽とスケートをする様子が描かれています。美しく教養豊かなミシアはミューズとして『ラ・ルヴュ・ブランシュ』の宣伝ポスターにたびたび登場しており、ナビ派の画家ピエール・ボナールも彼女をポスターに描いています。



## 第4章

## ポスター

ロートレックの代名詞であり、ロートレック・ファンの多くが期待するポスターを、第4章でまとめて展示します。ポスターは屋外に掲示されるため、その多くが破損や変色など、オリジナルの状態をとどめていません。フィロス・コレクションは状態の良いものを厳選し、さらに、第三者が文字入れをする前の刷りをおもに収集しています。そのため、ロートレック自身のデザインをオリジナルに近い状態で鑑賞することができます。

9 広報用画像 ⑨ 《ディヴァン・ジャポネ》

1893年 80.8×60.8cm リトグラフ Divan Japonais, 1893, Lithograph

日本風の内装が売りのキャバレ「ディヴァン・ジャポネ」（意味は「日本の長椅子」）のためのポスター。中央の女性は、ロートレックの作品にしばしば登場するダンサーのジャヌ・アヴリル。その右側に座っているのは、象徴主義の詩人エドゥアール・デュジャルダンです。ロートレックは当時の花形スターであるアヴリルを客席に描くことで、この店が有名人も集う店であることを印象づけました。舞台上の首から下が描かれた女性は、その特徴的な黒い長手袋から、歌手のイヴェット・ギルベールであることが分かります。あざやかで平坦な色使い、シンプルで力強い構図は、浮世絵から影響を受けたものと考えられています。

10 広報用画像 ⑩ 《メイ・ベルフォール》

1895年 79.5×61.0cm リトグラフ May Belfort, 1895, Lithograph

メイ・ベルフォールは、アイルランド出身の歌手でダンサー。ロンドンでデビューしたあとパリに移りました。この作品は「プティ・カジノ」に出演する際に制作されたポスターで、店名が印刷される前のものです。ベルフォールは、フリルの付いたベビー服風のドレスに大きな蝶結びのあるボンネットをかぶり、黒猫を抱いた姿がトレードマークで、古いアイルランド民謡やアメリカの黒人歌謡などを得意としていました。無邪気を装いながら舌足らずな子どものように歌いましたが、歌詞の裏には性的できわどい内容が込められており、世紀末の退廃的でエロティックな雰囲気を演出した舞台が人気を博しました。

11 広報用画像 ⑪ 《紙吹雪 (コンフェッティ)》

1894年 82.5×59.0cm リトグラフ Confetti, 1894, Lithograph

イギリスの製紙会社、J.&E.ベラ社の注文により制作された、婚礼やカーニバル、祭りなどで使われる紙吹雪の製造を宣伝するポスター。本作は、3人の手から放たれた華やかな紙吹雪をほほえみながら浴びる女性が描かれていますが、ロートレックの友人で画商のモーリス・ジョワイヤンによれば、モデルは女優のジャンヌ・グラニエとされています。3人の手首部分だけを左上に、人物の体を斜めに画面下半分に大きく配し、その間に書き入れたタイトル「Confetti」の文字が作品を統合する重要な構成要素としてデザイン効果を高めています。





第  
**5**  
章

# 私的生活と晩年

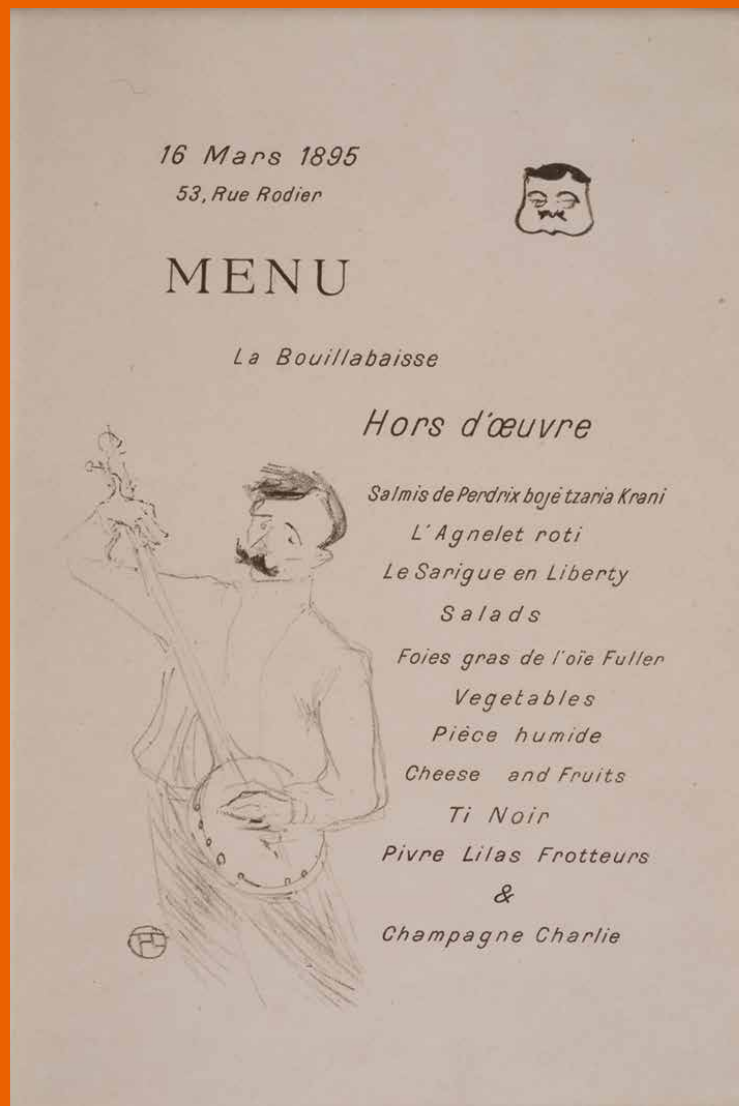
伝統ある貴族の家に生まれ、健康に恵まれなかったロートレックでしたが、多くの仲間にもまれていたようです。最後の章では、ロートレックがプロデュースした食事会のメニュー・カード、私的な展覧会の招待状、家族や知人にあてた手紙、プライベート写真など、ロートレックの私生活が垣間見られる作品や資料を展示します。これらの展示品から、ロートレックが人なつこい性格で、晩年まで多くの人々に愛されていたことがわかります。



広報用画像 ⑫ 《ポニーのフィリベール》

1898年 56.0×36.0cm リトグラフ Le Poney Philibert, 1898, Lithograph

晩年のロートレックは、初期の中心的な主題であった馬や動物に関連する主題を再度取り上げています。《ポニーのフィリベール》に描かれているフィリベールは、ロートレックの飲み友達だった貸馬車屋エドモン・カルメーズが所有する馬。ロートレックはフィリベールを可愛がり、フィリベールやカルメーズの飼い犬をモデルにした作品をいくつか描いています。



広報用画像 ⑬

## ブイヤベース、セスコウのメニュー・カード

1895年 34.8×22.0cm リトグラフ  
La Bouillabaisse, menu Sescou, 1895, Lithograph

ポール・セスコウは、ロートレックの友人で写真家。セスコウが撮影したロートレックの肖像写真が残されており、ロートレックはモンマルトルにあったセスコウのスタジオのための宣伝ポスターを制作しました。食通だったロートレックは自ら創作料理を考案し、メニュー・カードも作成しました。このメニュー・カードでは、左手にバンジョーを弾くセスコウ、右上にロートレックの友人モーリス・ギベールのカリカチュアが描かれています。献立は、言葉遊びを兼ねた空想の料理と考えられています。

関連企画： 日本におけるレビュー等の劇場文化と美術の交流およびその新宿での展開について館内で映像を上映するとともに、ご来場いただいた方に小冊子をお配りします

展覧会名(日)	フィロス・コレクション ロートレック展 時をつかむ線
会期	2024.6.22(土) - 9.23(月・祝) 日時指定予約推奨
会場	SOMPO美術館 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
休館日	月曜日(ただし7/15、8/12、9/16、9/23は開館)
開館時間	10:00-18:00(金曜日は20:00まで) ※最終入場は閉館30分前まで
観覧料(税込)	一般/事前購入券1,600円、当日券1,800円 大学生/事前購入券1,000円、当日券1,200円 高校生以下無料  身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳を提示のご本人とその介助者1名は無料、被爆者健康手帳を提示の方はご本人のみ無料 ●5月8日(水)より販売開始、公式電子チケット「アソビュー!」は日時指定券となります イープラス、ローソンチケット(Lコード:36427)、チケットぴあ(Pコード:686-938)などでもご購入いただけますが、別途「アソビュー!」での日時指定予約(無料)を推奨します ●当日券は美術館受付で販売いたします
主催	SOMPO美術館、日本テレビ放送網
特別協賛	SOMPOホールディングス
協賛	光村印刷
特別協力	損保ジャパン
協力	NX日本通運、日本貨物航空
後援	新宿区
企画協力	日テレイベント、日本テレビサービス
ホームページ	<a href="https://www.sompo-museum.org/">https://www.sompo-museum.org/</a>
お問合せ	050-5541-8600(ハローダイヤル)
アクセス	新宿駅西口より徒歩5分

プレスお問合せ 「ロートレック展」広報事務局(ウインダム内)

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-11 鴨下ビル2階

TEL. 03-6661-9447 FAX. 03-3664-3833 e-mail sompo-m-pr@windam.co.jp



SOMPO美術館  
Sompo Museum of Art

今後の状況により、本展の会期や内容の変更、または臨時休館する可能性があります  
最新情報は美術館ホームページ等でご確認をお願いします